

2025年度大学技術士連絡協議会総会

技術士CPDとIPDスモール スタートの概要

2026年1月24日（土）



日本技術士会

研修委員会委員長 松山正弘

1



技術士CPDの背景

1990年に入って

- ・国際的な経済活動の活発化
- ・欧米で技術者資格を相互に承認する動き
- ・APECで技術者資格の相互承認の促進を決議



2000年技術士法の大幅改正

国際通用性の観点から技術士法に**資質向上の責務**の規定を追加

2



技術士CPDの始まり

・2000年の改正内容

第47条の二（追加）

技術士は、常に、その業務に関して有する知識及び技能の水準を向上させ、その他その資質の向上を図るよう努めなければならない。

3



技術士CPDとは

Continuing Professional Development

日本技術士会では、

技術士に求められる資質能力（コンピテンシー）を最低限備えるべき能力とし、資質向上を図る活動を継続研鑽（CPD）と呼んでいます。

コンピテンシー（技術士分科会 令和5年1月改訂）

技術士に求められる資質能力（コンピテンシー）」として、「専門的学識」、「問題解決」、「マネジメント」、「評価」、「コミュニケーション」、「リーダーシップ」、「技術者倫理」、「継続研さん（追加）」が示された。

4

「技術士CPDガイドライン」－「Ⅱ. 技術士のCPD活動の基本的な考え方」表-1 抜粋



技術士CPDの位置づけ

1. 技術士倫理綱領 (2023)

技術士は、専門分野の力量及び技術と社会が接する領域の知識を常に高めるとともに、人材育成に努める

2. 技術士法施行規則の改正 (2021)

技術士登録簿に「資質向上の取組状況」欄の追加

3. 日本技術士会定款 第4条 (2011)

技術士の資質向上に関する事項

4. 技術士プロフェッション宣言 (2007)

技術士にふさわしい知識と能力を持ち向上する

5. 技術士法 第47条の2 (2000)

技術士の資質向上の責務



技術士CPDの改正 (2021)

・2021年9月文部科学省省令の改正

技術士法施行規則第14条(追加)

「六 申請者が技術士名簿への記載を希望するときは、**技術士登録簿に資質向上の取組状況**」を追加。

別記様式第7及び第7の2に「**資質向上の取組状況**」を記載する欄を追加。



すべての技術士を対象

・CPD活動実績の技術士登録簿への記載

技術士登録簿に「資質向上の取組状況」の欄が追加され技術士CPD活動実績の記載を希望する技術士の方は、登録事項変更届出書等の提出により、**過去5年度間の実績時間が記載**できるようになりました。

ココ！

(表-7)

技術士登録簿

登録番号	登録年月日	氏名	生年月日	第二次試験合格年月日	第二次試験の技術部門の名称	自ら業務を営むときの事務所		他に勤務するときの事務所		資質向上の取組状況 技術士 CPD 活動実績	備考
						名称	所在地	名称	所在地		

技術士 CPD 活動実績 (例)

資質区分	CPD 時間/年度				
	2018	2019	2020	2021	2022
CPD 時間合計	55	60	57	60	52
(うち技術者倫理)	1	2	1	3	1

* 「技術士CPDガイドライン」－「Ⅲ. 技術士登録簿における資質向上の取組状況欄の記載内容」表-5 より *

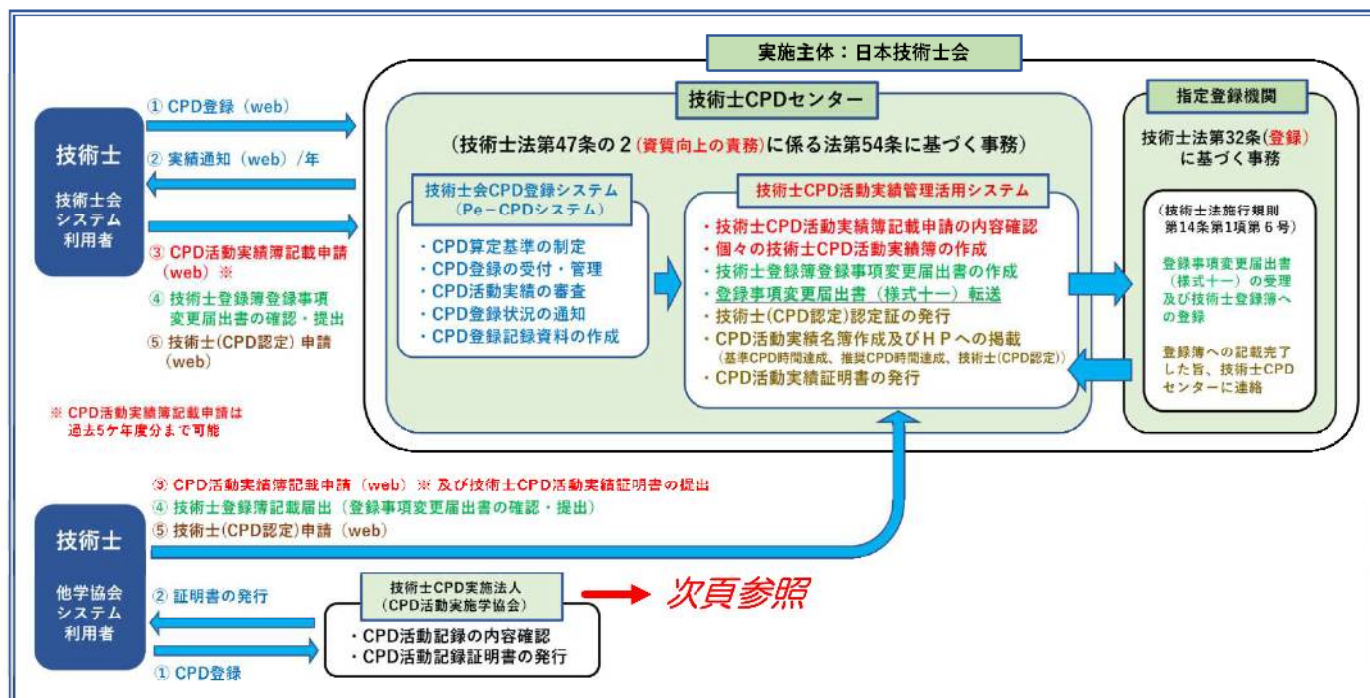
7



すべての技術士を対象

(図-2)

技術士CPD活動実績の管理及び活用の仕組み



* 「技術士CPD管理運営マニュアル」－「Ⅱ. 技術士CPD活動実績の管理及び活用の仕組み」図-2 より *

8

技術士CPD実施法人

・技術士登録簿CPD活動の発展に向けた連携を図ることを目的として「**CPD活動関係学協会連絡会**」を設置。

・連絡会に参加戴いた学協会を「**技術士CPD実施法人**」と称し、当該法人へ登録されたCPD実績は本会に登録されたCPD実績と同等と見なします。

よって、当該法人が発行する**CPD活動実績証明書**をもって、技術士登録簿への技術士CPD活動実績記載申請を受け付けます。

《技術士CPD実施法人》 2023.5.11現在

- 公益社団法人 農業農村工学会
- 一般社団法人 建設コンサルタンツ協会
- 公益社団法人 全国上下水道コンサルタント協会
- 公益社団法人 森林・自然環境技術教育研究センター（JAFEE）
- 一般社団法人 全国地質調査業協会連合会（土質・地質技術者生涯学習協議会）
- 一般社団法人 電気学会
- 一般社団法人 日本環境アセスメント協会
- 公益社団法人 土木学会
- 公益社団法人 地盤工学会
- 公益社団法人 日本建築士連合会
- 公益社団法人 日本造園学会
- 一般社団法人 全日本建設技術協会
- 公益社団法人 日本測量協会
- 公益社団法人 日本都市計画学会

技術士CPD活動の範囲

◆**能力開発活動**：講演会、研修会、見学会、論文発表、資格取得、自己学習等

◆**社会貢献活動**：公的機関の委員会委員、研修会講師、技術的なNPO活動等

◆**業務技術評価**：業務の表彰、特許出願等

技術士CPD活動の基本的な考え 3つの視点

- (1) 責務及びCPD活動の目的
- (2) 求められる資質能力及びCPD活動
- (3) CPD活動の実績内容の確認における判断基準の必要性

～ 技術士CPDガイドラインより ～

11

新たなガイドラインでの資質区分と形態区分

・【基準CPD時間】

資質能力の維持のために必要なCPD時間：20時間/年

・【推奨CPD時間】

高度なエンジニアとして必要なCPD時間：50時間/年

(但し、技術者倫理1時間以上を必須) → 技術士(CPD認定)へ

CPD活動の資質区分と資質項目

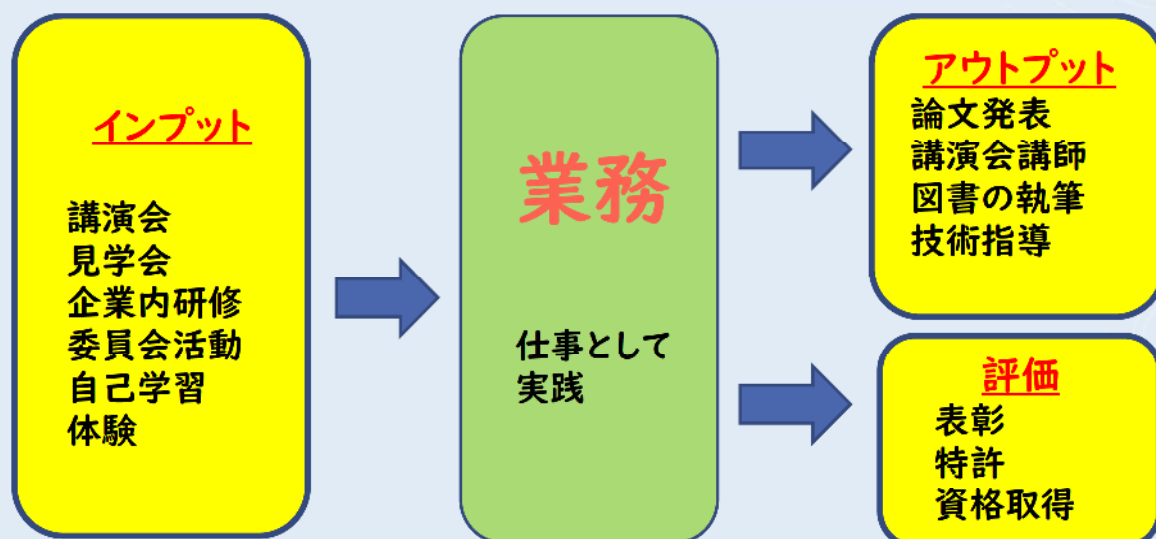
資質区分	資質項目
A.専門的学識	1-1 技術部門全般
	1-2. 専門(選択) 科目
	1-3 法令・規格等の制度
	1-4 社会・自然条件
B.一般共通資質	2 問題解決
	3 マネジメント
	4 評価
	5 コミュニケーション
	6 リーダーシップ
	7 技術者倫理

CPD活動の形態区分と形態項目

形態区分	形態項目
I.参加型	1 講演・研修
	2 組織内研修
	3 学協会活動
II.発信型	4 論文・報告文
	5 講師・技術指導
	6 図書執筆
	7 技術協力
III.実務型	8 資格取得
	9 業務成果
IV.自己学習型	10 多様な自己学習

*「技術士CPDガイドラインVer.1.3」－「Ⅱ. 技術士のCPD活動の基本的な考え方」表-2・表-3より*12

技術士CPD活動と業務の関係



仕事として実践する業務そのものは
CPDに該当しない。

13

技術士CPD登録制度の経緯

- ・技術士法改正（2000）
- ・**CPD登録の受付開始（2002）**
- ・技術士CPD登録証明書の発行（2005）
- ・技術士CPDガイドブックの発行（2006）
（1～5版）
- ・**技術士CPD認定会員制度の発足（2006）**
- ・**技術士CPDガイドライン（第1版）（2011）**
- ・技術士CPDガイドライン（第3版）（2017）
- ・技術士法施行規則改正（2021）
- ・**技術士CPDガイドラインVer1.1（2021）**
- ・技術士（CPD認定）の認定の開始（2021）
- ・**技術士CPDガイドラインVer1.3（2025）最新版** 14

技術士のキャリア形成に必要なCPD時間

継続研さん（CPD）や実務経験を通じて技術士としての資質能力を向上させる段階



（資質能力の維持のために必要なCPD時間） ▶ 20 CPD時間/年

（高度なエンジニアとして必要なCPD時間） ▶ 50 CPD時間/年（うち技術者倫理1 CPD時間/年以上）

◎ 技術士になった時点の資質能力を維持するために必要な **年間20 CPD時間**のCPD実績を「**基準CPD時間**」とする。

◎ 技術士が積極的に資質能力を向上させ、より高度なエンジニアとして活躍するために必要な **年間50 CPD時間**のCPD実績を「**推奨CPD時間**」とする。（技術士は専門的学識だけでなく一般共通資質を含めた幅広い資質の修得が必要であり、また、社会から高い倫理観を保つことが求められている。そのため、「推奨CPD時間」には内数として年間 1 CPD 時間以上の 技術者倫理の実績を求める。）

（注）資格取得目安の35歳は、科学技術・学術審議会・技術士分科会が「技術士に求められる資質能力（コンピテンシー）」平成27年2月）において示した技術士として活躍が期待される年齢である。

※ 但し「推奨CPD時間」の内数として、年間1CPD時間以上の技術者倫理の実績を求める

* 「技術士CPDガイドライン」－「Ⅱ. 技術士のCPD活動の基本的な考え方」図-1 抜粋*

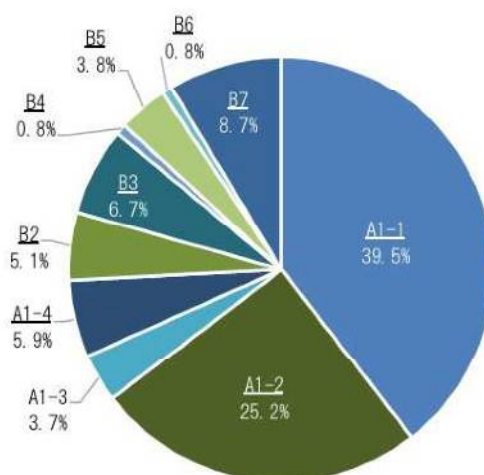
15

技術士CPD活動実績

資 質 項 目

資質区分・資質項目		件数	割合
A 専門的学識	1-1 技術部門全般	7,041	39.5%
	1-2 専門（選択）科目	4,485	25.2%
	1-3 法令・規格等の制度	658	3.7%
	1-4 社会・自然条件	1,046	5.9%
B 一般共通資質	2 問題解決	917	5.1%
	3 マネジメント	1,188	6.7%
	4 評価	142	0.8%
	5 コミュニケーション	671	3.8%
	6 リーダーシップ	134	0.8%
	7 技術者倫理	1,549	8.7%

計 17,831



* 「2024年度技術士CPD審査」抜粋*

16

技術士CPD活動実績

形態項目

形態区分・形態項目		件数	割合
参加型	1 講演・研修	9,798	54.9%
	2 組織内研修	2,572	14.4%
	3 学協会活動	1,655	9.3%
発信型	4 論文・報告文	198	1.1%
	5 講師・技術指導	697	3.9%
	6 図書執筆	27	0.2%
	7 技術協力	62	0.3%
実務型	8 資格取得	118	0.7%
	9 業務成果	209	1.2%
※	10 多様な自己学習	2,495	14.0%

計 17,831

※：自己学習型



「2024年度技術士CPD審査」抜粋

17

技術士(CPD認定)

1. CPD認定制度 (2021年9月から開始)

- ・技術士が一定以上の研鑽を継続していることを証明し、社会的な信用度を高め活用を促進することを目的とする。

2. 認定の要件

- ① 申請前5年度で250 CPD時間以上登録(うち5CPD時間以上の技術者倫理の実績)

- ② 各年度別においても20 CPD時間以上実績

3. 認定書を発行された技術士の取り扱い

- ① 認定の有効期間は5年間
- ② 認定者の名簿をホームページに掲載
- ③ 名刺等への標記及びロゴマークの使用

※「技術士(CPD認定)」を受けた技術士は、「技術士(CPD認定)」の名刺等への表記及びロゴマークの使用が認められます。



〇〇〇株式会社

技術 太郎

技術士(建設部門)



〒100-0011 東京都港区芝公園3-5-8 機械振興会館
TEL: 03-3459-1331 FAX: 03-3459-1338
E-mail: xxx@engineer.or.jp

18

技術士CPDの自主選択と自己管理

- 継続研鑽は、**技術士個人**の専門的業務の知識及び技術の水準を向上させ、資質の向上に資するもの
⇒ **自主的な選択による実施（重要）**
- 継続研鑽の実施結果は、**自分で記録し**、その証しとなるもの（エビデンス）を**自分で保存**しておく【エビデンスは5年間保管が必要】
⇒ **自己責任（重要）**

19

HPからCPD登録システムへ



日本技術士会のご案内 試験・登録情報 修習技術者 技術士CPD APECエンジニア IPEA国際エンジニア 会員コーナー

新・技術士CPD制度 (技術士CPD活動実績の管理および活用制度)
すべて①技術士は日本技術士会CPD制度を利用いただけます②

技術士とは
科学技術に関する高度な知識と応用能力が認められた技術者の国家資格です

技術士になるには
技術士試験に合格し登録する必要があります。第二次試験は7月、第一次試験は10月に行われます

会員の方へ
日本技術士会が行っている様々な活動をご存知ですか

新・技術士CPD制度 **new**
2021年9月「新・技術士CPD制度（技術士CPD活動実績の管理及び活用制度）」が公的な仕組みとしてスタートしました！

企業・産業界の方へ
高い技術者倫理を備え、継続的な資質向上に努める技術士を活用しませんか

技術士CPD
資格取得後も技術士CPDとして継続的な自己研鑽が求められます

修習技術者の方へ
JABEE認定施設で学ぶことは第一次試験に合格している方を修習技術者と呼びます

日本技術士会入会のご案内 **new**
入会すれば、人脈形成、ビジネス情報の収集などメリットいろいろ。さらにはご活躍を支援します

ココをクリック！

20

新・技術士CPD制度



技術士CPD活動実績の管理および活用制度

すべての技術士は日本技術士会CPD制度を利用いただけます。

2021年4月26日に発出された文部科学大臣通知および9月8日の文部科学省令改正に基づき、新たに技術士CPD活動実績の管理および活用に関する制度が始まりました。

これらにより文部科学省は、技術士のCPD活動の履行状況を公的に裏付け、国内外における技術士資格の活用促進を図るため、技術士法施行規則第14条(六)申請者が技術士名簿への記載を希望するときは、技術士登録簿に資質向上の取組状況を追加するとともに、別記様式第7及び第7の2に「資質向上の取組状況」を記載する欄が追加されました。また、一定以上の継続研さんを重ねる技術士は、当該技術士の氏名等を技術士会ホームページに掲載されます。今後、技術士CPD活動実績を管理するシステム（技術士CPD活動データベース）は、公共発注機関に供するとともに既存の入札情報システムとの連携、中小企業基盤整備機構、消費者庁および裁判所等の利用を検討しています。

2021年9月

技術士CPD制度の概要

すべての技術士が登録できるCPD登録制度と新・技術士CPD制度の特徴等

<動画> 技術士CPD活動実績の管理及び活用制度の説明

<動画> 同上 (YouTube)

CPD活動実績の技術士登録簿への記載

技術士登録簿「資質向上の取組状況」欄に技術士CPD活動実績を記載

本会にCPD実績を登録している会員の方 (A1)

本会にCPD実績を登録している非会員の方 (A2)

他学協会にCPD実績を登録している会員の方 (B1)

他学協会にCPD実績を登録している非会員の方 (B2)

<動画> 技術士活動実績の記載申請の説明

(A1) (A2) (B1) (B2)

CPDWEB登録ID・パスワードの取得

- 会員の方：会員ID・パスワードの取得
- 非会員の方：WEB登録メンバーID・パスワードの取得

CPD実績のWEB登録

WEB登録・管理サイトにログインして登録

- CPDのWEB登録・管理
- 参考1：CPD登録入力の手順
- 参考2：CPD登録の入力画面の例
- <動画> 日々のCPD実績登録の説明

CPD登録証明書の発行

日本技術士会がCPD実績を審査し、登録証明書を発行

技術士CPD認定

「技術士（CPD認定）」の認定（申請受付開始

2021年9月8日《新・技術士CPD制度》

※従来の「CPD認定会員制度」新規・更新の受付終了

CPD実績管理の手続きコーナー

【技術士CPD実績管理活用システム】

本会にCPD実績を登録している方

他の学協会にCPD実績を登録している方

次の手続きを行うことができます。

- CPD時間数の記載申請
- 技術士CPD認定申請
- 技術士CPD認定証交付
- 活動実績証明書の発行申請
- 活動実績証明書発行

※ より詳しい手順～手続きフロー（PDF：408KB）

CPD行事の参加申込

- 新しい申込システム（会員の方）
- 従来の申込システム（会員の方、非会員の方）
- 一般CPD行事案内（非会員の方）

技術士CPD ガイドライン等及びQ&A集

《新・技術士CPD制度》

- 技術士CPDガイドライン
- 技術士CPDガイドブック
- 技術士CPD Q&A
- 技術士CPD（継続研さん） Q&A

日本技術士会 会員専用【マイページの利用のお勧め】

会員専用のマイページから次の手続きを行うことができます。

- 技術士CPD行事申込
- CPD講演内容のHP視聴
- CPD実績のWEB登録・管理
- CPD活動実績の記載申請

本会にCPD実績を登録している方

他の学協会にCPD実績を登録している方

このページのお問い合わせ先

技術士CPD管理部 電話：03-3459-1331

メールフォームはこちら



CPD活動実績の登録手続き

日本技術士会ホームページからWEBで登録することができます。
登録には「ID、パスワード」が必要です。

・会員：無料（会員ID、パスワード）

・会員以外：手数料2,000円/年度

以下は、技術士CPDWEB登録パスワード（非会員用）の取得申請（Web画面）

技術士CPDWEB登録パスワード（非会員用）の取得申請

・2023年4月28日までの申請はキャンペーン対象です

・パスワードは、申請内容の種別を問わず、手続の2～3回後に郵送されます。

・全ての項目を入力後に「次へ」をクリックして下さい。

・初期状態に戻す場合は「クリア」をクリックして下さい。

区分 (必須)	☐ 新規（初めて申請される方） ☐ 再発行（既にID、PWをお持ちの方で、ID、PWを紛失された方） ☐ 更新（既にID、PWをお持ちの方で、ID、PWの有効年度を満了する方） ※「再発行」、「更新」は同時に選択することも可能です。
技術士登録簿 号 (必須)	※登録番号(半角数字)を入力して下さい。
漢字氏名 (必須)	姓
カナ氏名 (必須)	姓
技術部門 (必須)	☐ 機械 ☐ 船舶・海洋 ☐ 航空・宇宙 ☐ 電気電子 ☐ 化学 ☐ 繊維 ☐ 金属 ☐ 農林工芸 ☐ 建設 ☐ 上下水道 ☐ 衛生工学 ☐ 農業 ☐ 森林 ☐ 水産 ☐ 経営工学 ☐ 情報工学 ☐ 応用工学 ☐ 生物工学 ☐ 環境 ☐ 原子力・放射線 ☐ 総合技術管理
生年月日 (必須)	() 明治 大正 昭和 平成 () 年 月 日 (半角数字)

（有効期間）

・4月～翌年3月（1年度）

（CPD登録）

・有効期間内のCPD記録はいつでも登録可能。

CPDのWEB登録画面

Step①

Pe-CPD (CPDのWEB登録・管理)

○ 2011年3月31日以前のCPD実施形態
○ 2011年4月1日 - 2017年3月31日のCPD活動
○ 2017年4月1日 - 2022年3月31日のCPD活動

● 2022年4月以降のCPD活動
※2022年3月以前の記録と、2022年4月以降の記録は同時に表示できません

技術士登録番号: 123456

氏名: 技術太郎

表示期間: 20 17 年 5 月 ~ 20 22 年 4 月 表示期間の変更

上欄の表示期間を変更後「表示期間の変更」ボタンを押すと、下欄の明細表示が対応して更新されます。

登録 & 修正 & 削除
表示
形態項目別集計
資質項目別集計
APEC集計
登録証明書発行履歴

選択	No.	開始年月日 終了年月日	形態 項目	資質 項目	CPD名	主催者	CPDの内容	実 時間 (1)	換 算 係数 (2)	CPD 時間 (1)×(2)	CPD 時間 累計
☐	1	2022年01月18日 2022年01月18日	1	B-2	応用理学部会 例会講演会	日本技術士 会応用理学 部会	不思議材料「ガラス」の 特徴と人類への貢献とい うテーマから日用品から 最先端デバイスまでガラ スの利用価値や我々の生 活の隅々まで活用が進ん でいることを学んだ。さ らに今後の研究開発の展 開など期待される化学分 野と考える。	2.00	1.0	2.00	2.00
☐	2	2021年12月28日 2021年12月28日	65	A-1	技術者倫理の 基礎 (2021. 2. 17講演)	日本技術士 会建設部会	技術者倫理の体系的な知 識を学習した。倫理の順 守には倫理規程の存在が 重要であると、技術者個 人が倫理について考える 重要性を知った。また、 組織の中で倫理的な活動 の難しさとそれに対処す	1.50	1.0	1.50	3.50

CPDの追加方法
を選択してくだ
さい

行事申込からの追加登録 「WEB行事申込」している行事を登録する場合はこちらから。行事情報の入力が必要となり便利です。

新規追加登録 新たなCPD記録を追加登録する場合。

修正 対象データの「選択欄」をチェックしてこのボタンを押すと、修正可能となります。

削除 対象データの「選択欄」をチェックしてこのボタンを押すと、削除できます。

23

CPDのWEB登録画面

Step②

Pe-CPD (CPDのWEB登録・管理)

入力区分 [4]2022年4月以降のCPD活動

技術士登録番号

氏名 技術太郎

開始年月日 (必須入力)	20 年 月 日 (半角入力)	開始時	時 00 分
終了年月日 (必須入力)	20 年 月 日 (半角入力)	終了時	時 00 分
形態項目 (必須入力)	各形態項目の詳細は形態項目一覧でご確認ください。 形態項目		
資質項目 (必須入力)	資質項目		
実時間 又は件数 (必須入力)			
換算係数			
CPD時間	時間 分		
CPD名 (必須入力)	(半角入力)		
主催者 (必須入力)	(全角入力)		
場所 (必須入力)	(半角入力)		
CPDの内容 (必須入力) (500文字まで)	(全角入力)		
備考 (500文字まで)	(全角入力)		
講演・研修の エビデンス	講演・研修 [100] で計上する場合は、エビデンスとして該当するものにチェックして下さい。 ☐ 受講証、受講証明書、修了証等 ☐ 参加者一覧、参加票、配布資料、招待メール、その他のエビデンス ☐ 日本技術士会 Pe-CPD の講演録画の視聴 (内容、所見を記入) ※ 上記に該当しない場合は、自己学習 [010] で計上して下さい。		
APECエンジニア	APECエンジニアの方及びAPECエンジニアを申請する方は、該当する技術分野にチェックして下さい。 ☐ Civil ☐ Structural ☐ Geotechnical ☐ Environmental ☐ Mechanical ☐ Electrical ☐ Industrial ☐ Mining ☐ Chemical ☐ Bio ☐ Information		
表示/非表示設定 (必須入力)	● 表示 ○ 非表示		

長い休憩時間(昼食等)を
除く実時間

形態項目の選択

資質項目の選択

実時間の入力

換算係数(自動入力)

CPD時間(自動入力)

ご自身のCPD記録として
CPDの内容を入力し、ご
活用ください

受講を確認できるエビ
デンスをチェック(添付は不
要)

24

CPD実績のWEB登録・管理

当会の団体が主催する行事に、本会HPより申込を行った場合は、基本情報を自動（入力）登録することができます。

Pe-CPD (CPDのWEB登録・管理) 技術士登録番号: 氏名:

表示期間: 20 01 年 10 月 ~ 20 06 年 11 月

上欄の表示期間を変更「表示期間の変更」ボタンを押すと、下欄の明細表示が対応して更新されます。

選択	終了年月日	項目	区分	CPD名	主催者	CPDの内容	時間 (1)	係数 (2)	時間 (1)×(2)	時間累計
☐	2006年09月30日 2006年09月30日	A-4	1	機械部会	機械部会	機械部会	4.00	1.0	4.00	4.00
☐	2006年04月01日 2006年04月01日	B-1	1	秋田大学関西セミナー「インド洋大津波と日本の津波防災」	秋田大学工学資源学部	秋田大学・高橋智幸助教授によるインド洋大津波および津波対策に関する特別講演を受講した。	1.50	1.0	1.50	5.50
☐	2004年12月01日 2004年12月01日	A-8	6-(3)	「第3回 ファイナンス手法研究小委員会」出席	土木学会建設マネジメント委員会	土木学会「第3回 ファイナンス手法研究小委員会」に委員として参加した。	2.00	1.0	2.00	7.50
☐	2004年04月01日 2004年04月02日	B-1	1	2006年度(第42回)水工学に関する夏季研修会(Bコース)	土木学会(担当:水工学委員会、海岸工学委員会)	津波・高潮を中心とした海岸・沿岸域での防災をテーマに、災害発生時の物理メカニズムやその予測から現地の施策や防災情報の活用までの広い範囲について、最新の知見や技術について聴講した。	12.00	1.0	12.00	19.50
☐	2003年02月01日 2003年02月01日	B-1	2	『道路管理施設高度化詳細設計業務』の推進	国土交通省 近畿地方整備局 京都国道	京都国道事務所内の全体ワーキングにおいて、過年度までの検討結果、および「道路管理施設高度化詳細設計業務」の検討進捗状	2.00	1.0	2.00	21.50

「WEB行事申込」している行事を登録する場合はこちらから。行事情報の入力が不要となり便利です。

新たなCPD記録を追加登録する場合。

対象データの「選択欄」をチェックしてこのボタンを押すと、修正可能となります。

対象データの「選択欄」をチェックしてこのボタンを押すと、削除できます。

[技術士会 HOME > CPDのトップページに戻る](#)

25

CPD実績のWEB統計管理

記録は、年別、課題別、形態別等の集計表とグラフの表示が可能です。自己CPDの分析と今後の実施計画の参考にできます。

Pe-CPD (CPDのWEB登録・管理) 技術士登録番号: 氏名:

表示期間: 20 01 年 10 月 ~ 20 06 年 11 月

上欄の表示期間を変更「表示期間の変更」ボタンを押すと、下欄の明細表示が対応して更新されます。

実施形態別CPD時間数 (2018/04~2022/03)

		1	2	3	4	5	6-(1)	6-(2)	6-(3)	6-(4)	6-
1年目	2018/04~2019/03	12.00	5.00		18.00			8.00			1
2年目	2019/04~2020/03	4.00	5.00		36.00		10.00	34.00			1
3年目	2020/04~2021/03	14.00	5.00		25.50			22.00			
4年目	2021/04~2022/03	18.00			24.00			58.00			
*	合計	48.00	15.00		103.50		10.00	122.00			2

実施形態別CPD時間数累計グラフ (2018/04~2022/03)

形態	時間	1年目	2年目	3年目	4年目
1 講習会等の参加	48.00				
2 論文等の発表	15.00				
3 企業内研修					
4 講師・技術指導	103.50				
5 業務経験					
6-(1) 公的資格の取得	10.00				
6-(2) 委員就任	122.00				
6-(3) 研究・国際機関協力					
6-(4) 執筆					
6-(5) 自己学習他	21.50				
合計	320.00				

26

技術士CPD活動実績証明書の発行

技術士登録簿に登録されたCPD記録

(技術士CPD活動実績証明書)と

技術士会CPD登録システムに登録された
CPD記録(技術士CPD登録証明書)の2
種類の証明書を発行しています。

- 発行の対象期間は過去5年分まで
- 本人から「WEB」で発行申請(有料)

正会員:1,000円/部、非会員5,000円/部

27



技術士CPD活動実績証明書(例)

氏 名	
登録番号	第 号
技術部門	部門
対象期間	2016年4月～2021年3月
合計CPD時間	5年間 CPD時間

年度別CPD活動実績

年度	2016	2017	2018	2019	2020
CPD時間					
(うち技術者倫理)					

あなたのCPD活動の実績については、上記のとおり技術士登録簿に記載されていることを証明します。

〇〇年〇〇月〇〇日

公益社団法人日本技術士会 会長 〇〇 〇〇

28



見本

技術士CPD登録証明書(1/2)

(氏名)	技術 士郎	(技術分野)	建設部門
(登録番号)	00000		
(証明事項)			
対象期間: 2022年4月 ~ 2022年3月			
合計CPD時間: CPD時間			
課題別CPD時間:			
課題区分		CPD時間	
A 一般共通課題		20.0	
B 技術課題		24.0	
合 計		44.0	
形態別CPD時間:			
形態区分		CPD時間	
1. 講習会・研修会・講演会、カンファレンス等への参加 (受講)		20.0	
2. 論文等・報告文などの発表、査読		0.0	
3. 企業内研修 (受講)		12.0	
4. 講習会・講習会などの講師・修習技術者指導		5.0	
5. 職業界における業務経験		3.0	
6. 資格取得、委員会活動、大学等での研究 (発表、図書執筆、自己学習など)		14.0	
合 計		54.0	

(注) 表中のCPD時間の内訳の合計は四捨五入のため合計欄の数値と一致しないことがあります

あなたのCPDの実績については、本会に上記のとおり登録されていることを証明します。

2022年X月 XX日

公益社団法人日本技術士会 会長 ■■■■

見本

技術士CPD登録証明書(2/2)

(氏名)	技術 士郎	(技術分野)	建設部門
(登録番号)	00000		
(証明事項)			
対象期間: 2022年4月 ~ 2022年3月			
合計CPD時間: 10.0 CPD時間			
審査項目別CPD時間:			
審査区分		CPD時間	
A 専門的学識		8.0	
B 一般共通学識		2.0	
合 計		10.0	
形態項目別CPD時間:			
形態区分		CPD時間	
1. 講習・研修		5.0	
2. 組織内研修		0.0	
3. 学協会活動		0.0	
4. 論文・報告文		0.0	
5. 講師・技術指導		3.0	
6. 図書執筆		0.0	
7. 技術協力		0.0	
8. 資格取得		0.0	
9. 業務成果		0.0	
10. 多様な自己学習		2.0	
合 計		10.0	

(注) 表中のCPD時間の内訳の合計は四捨五入のため合計欄の数値と一致しないことがあります

あなたのCPDの実績については、本会に上記のとおり登録されていることを証明します。

2022年X月 XX日

公益社団法人日本技術士会 会長 ■■■■

29



技術士CPD活動実績審査

公共事業やAPECエンジニアの審査等でCPD証明書の重要性が高まっており、登録内容の質の確保のため登録内容の審査を実施している。

1) 頻度: 年3回程度

2) 対象者: 日本技術士会の技術士CPD発行システムに登録されたCPD活動実績

3) 審査の基準

- ① 「日本技術士会CPD時間算定基準及び注意事項」に基づき実施
- ② CPD活動の実施年に応じたガイドラインを適用 ➡ 次頁参照

4) 基準を満たしていない場合

CPD登録データの「修正・改善」依頼通知

* 「技術士CPD審査委員会」による定期的な抽出審査 *

30

技術士CPD活動実績審査

技術士CPD実績は実施時期に応じて、下表のガイドライン等が適用されます。

実施時期に適用されるガイドライン等

CPDを実施した時期	適用されるガイドライン等
2025年4月1日～ ※最新版	* 技術士CPDガイドライン Ver1.3 * 技術士CPDマニュアル Ver1.5 - 抜粋1 → CPD活動の形態区分と形態項目 - 抜粋2 → 日本技術士会CPD 時間算定基準および注意事項 * 技術士CPDマニュアル(簡略版) * 技術士CPDマニュアル 新旧対照表
2024年4月1日～	* 技術士CPDガイドライン Ver1.2 * 技術士CPD管理運営マニュアル Ver1.4
2023年5月10日～	* 技術士CPDガイドライン Ver1.2 * 技術士CPD管理運営マニュアル Ver1.3

※2023年5月9日以前のCPD実施についてはHPをご覧ください。

31

日本技術士会が主催するCPD行事

本会では、各技術部門(部会)、各地域(地域本部、県支部)の組織が資質向上に向けた様々なCPD行事を企画・開催しています。
CPD支援委員会などの委員会が主催する行事もあります。
(WEB会議システムによるリアル配信等)

CPD支援委員会が主催する行事	
技術士CPD中央講座	土曜日の午後に開催、 CPD時間 3.5【年に3回ほど】
技術士CPDミニ講座	平日の18時～20時開催、CPD時間 2.0【年に5回ほど】
技術士CPD発表会	土曜日の午後に開催【年1回】、発表10件ほど ※ 会員の技術士の方が発表する機会です。
新春記念講演会	1月に、新年賀詞交歓会の開催日に合わせて開催 ※ 著名な講師に登壇いただいています。

※「日本技術士会HP」－「技術士CPD」－「CPD行事への参加」をご覧ください。

32

新春記念講演会

毎年、著名な講師に登壇いただいています

近年に開催された新春記念講演会



開催日	講演タイトル	講師
2026年 1月28日(水)(予定)	誰でも宇宙で活躍できる社会を目指して ～新たな産業界との連携～	株式会社ロケットリンクテクノロジー 代表取締役社長 森田 泰弘 氏
2025年 1月20日(月)	フュージョンエネルギーの開発の状況	国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構 花田 磨砂也 氏
2024年 1月11日(木)	量子コンピュータが拓く未来:基礎から最先端まで	国立研究開発法人産業技術総合研究所 川畑 史郎 氏
2023年 1月11日(水)	カーボンニュートラルに向かう世界 その課題と技術への期待	東京大学 高村 ゆかり 氏
2022年 1月12日(水)	地方発の革新的技術が創るニッポンの未来～鶴岡サイエンスパークの挑戦	慶應義塾大学 富田 勝 氏

33

講演会のWEB同時中継 講演録画のWEB掲載

・WEB同時中継を行う講演会は
会場で聴講するほか、自宅等
のPCで聴講できます。



自宅等のWEB聴講は、会員及び本会CPDWEB登録メンバー。
(一般には非公開)

・講演録画を技術士会HPから視聴できます(オンデマンド方式)。
HP視聴は会員限定の「CPD講演内容のHP視聴」と会員及び本会
CPDWEB登録メンバー「Peラーニング(主に技術者倫理を掲載す
る無料版とそれ以外の有料版)」の3種類です。

*本会CPD登録システムの利用ID取得者(非会員技術士:発行料2千円/年間)

34



「CPD講演内容のHP視聴」 会員限定無料

(オンデマンド方式)

《Pe-CPD》CPD講演内容のHP視聴

2026/01/01 15:00

2026年1月末：約500件

講演名をクリックすると、講演で使用されたスライドと講演者の音声を収録した動画を視聴することができます。【視聴証明書を発行することはできません。】

当コンテンツの視聴実績を技術士CPDとして登録する場合、形態項目は【10.多様な自己学習】に該当します。

各コンテンツは、原則として開催年月の5年後に掲載を終了します。

講演会検索 検索

期間: ~

主催者:

行事名:

(全件)

キーワード1:

キーワード2:

(*)が検索対象(AND条件)

開催日	主催者	行事名	講演名(*)	講演者(*)
2025/10/03	上下水道部会	定例講演会	あらためて上下水道の強靱化について考える～下水道のDX・新技術の役割～ [HP視聴]	滝沢 智 東京都立大学特任教授／東京大学名誉教授
2025/09/18	衛生工学会	定例講演会	2050年カーボンニュートラルに向けた再エネ政策とビジネスモデル [HP視聴]	山下 幸恵 office SOTO
2025/09/16	応用理学会	応用理学会・森林部会 合同講演会	大地の5億年-せめぎ合う土と生き物たち-土と生命の46億年史 [HP視聴]	藤井 一幸 福島国際研究教育機構 土壌ホメオスタシス研究ユニット長
2025/08/30	経営工学会	定例講演会	今、事業継続に求められること～多様化する危機に対するBCPとは～ [HP視聴]	久野 陽一郎 ニュートンコンサルティング (株) エグゼクティブコンサルタント

(お知らせ) 今後、開催される講演会は主としてPeラーニングに掲載予定

35



「Peラーニング(無料版)」 会員及びCPDWEB登録メンバー

(オンデマンド方式)

Peラーニング (無料版)

Peラーニングシステム (無料版) のコンテンツは「択一式」と「記述式」の2種類があります。

システムの画面上部の「択一式/記述式」タブを選択することで、それぞれのコンテンツを利用することができます。

1. 本会の正会員の方または技術士CPDWEB登録パスワード (非会員用) をお持ちの方が「Peラーニングシステム」を利用することができます。
パスワードの取得については下記「関連ページ」をご参照ください。
2. 技術者倫理等のコンテンツを無料で公開しています。
3. コンテンツの利用に際しては、必ず「日本技術士会CPD行事参加規則 (約款)」をお読みいただき、同意された方のみご利用ください。
コンテンツの利用に際して本会が取得した個人情報及びその他必要な情報については、本会の「プライバシーポリシー」に基づき取り扱います。

・択一式コンテンツ

技術者倫理等に関するCPD講演内容 (講演スライドと講師の音声) を収録した動画を視聴し、択一式の確認テストに合格すると視聴証明書【PDF】をダウンロードすることができます。

技術者倫理以外のコンテンツは、原則として掲載開始年月の5年後に掲載を終了します。掲載終了後は、視聴証明書のダウンロードを含め当該コンテンツが利用できなくなります。

・記述式コンテンツ

技術士倫理事例集を基にした動画 (同事例集スライドを読み上げる動画) を視聴し、「学習した内容について考えたこと」を記述すると視聴証明書【PDF】をダウンロードすることができます。

・利用方法

- (択一式) 受講手順の概要
- (記述式) 受講手順の概要

■ ご利用はこちらから → Peラーニングシステム (無料版)

36



「Peラーニング(無料版)」コンテンツ

択一式コンテンツ一覧

タイトル	動画時間	掲載開始年月
日本の安全文化は国際慣行とどこが違ったか	54分40秒	2023年6月
責任あるAIコンピューティングの実現に向けて - 組織の責任、個人の責任 -	51分25秒	2023年7月
不測の時代に備えるべきスキルと技術者倫理	51分09秒	2023年7月
フェイクニュースの問題と対応策	51分49秒	2023年7月
ジェンダー視点から現代社会を見る ～理工系のためのジェンダー論入門～	53分31秒	2024年9月
ダイバーシティとキャリア形成	55分13秒	2025年1月
誰もが持つアンコンシャス・バイアスを知り、 一人ひとりが最大限力を発揮できる職場環境作りに活かそう	97分35秒	2025年3月
技術士（理系の職業従事者）に女性を増やすための 社会へのアプローチ	42分50秒	2025年7月
中等・高等教育とジェンダード・イノベーション ～長期思考の人材育成を目指して～	53分09秒	2025年9月
学校現場におけるジェンダー意識	54分05秒	2025年9月
女性もみんなも、心も体も健康になれる、 デキル職場をめざして	50分56秒	2025年12月

記述式コンテンツ一覧

章番号	タイトル	動画時間	掲載開始年月
2-1-4	使用済燃料輸送容器の材料検査データの改ざん	7分01秒	2025年3月
2-4-1	六本木ヒルズ自動回転ドア死亡事故	6分13秒	2025年3月
2-4-2	ジェットコースター事故	4分24秒	2025年3月
2-7-3	パロマ瞬間湯沸器の安全装置改造問題	7分25秒	2025年3月
2-7-5	リチウムイオン電池不具合	6分08秒	2025年3月
2-8-6	下水道工事中の掘削溝崩壊	5分19秒	2025年3月
2-9-1	多摩川水害	12分18秒	2025年3月
2-9-2	東海豪雨災害	20分48秒	2025年3月
2-9-3	有珠山噴火	7分16秒	2025年3月
3-1-1	雪印乳業集団食中毒事件	5分13秒	2025年3月



「Peラーニング(有料版)」 会員及びCPDWEB登録メンバー

(オンデマンド方式)

Peラーニング(有料版)

CPD講演内容（講演スライドと講師の音声）を収録した動画を視聴し、択一式の確認テストに合格すると視聴証明書【PDF】をダウンロードすることができます。

1. 本会の正会員の方または技術士CPDWEB登録パスワード（非会員用）をお持ちの方が「Peラーニングシステム」を利用することができます。パスワードの取得については下記「関連ページ」をご参照ください。
2. 各コンテンツの利用料は、本会会員の方は1,000円、技術士CPDWEB登録パスワード（非会員用）をお持ちの方は2,000円です。
3. コンテンツの利用に際しては、必ず「日本技術士会CPD行事参加規則（約款）」をお読みいただき、同意された方のみご利用ください。コンテンツの利用に際して本会が取得した個人情報及びその他必要な情報については、本会の「プライバシーポリシー」に基づき取り扱います。
4. ご利用環境でPeラーニングシステムが作動するかどうかを、無料版のコンテンツで一度試しておくことをお勧めします。無料版のコンテンツについては、本ページ下部「関連ページ」をご参照ください。
5. 各コンテンツは、原則として掲載開始年月の5年後に掲載を終了します。掲載終了後は、視聴証明書のダウンロードを含め、当該コンテンツが利用できなくなります。

● 利用方法 → [購入手続き案内／受講手順の概要](#)

■ [ご購入・ご利用はこちらから](#) → [Peラーニングシステム\(有料版\)](#)



「Peラーニング(有料版)」コンテンツ

コンテンツ一覧 ※原則、掲載開始年月の5年後に掲載を終了

タイトル	動画時間	掲載開始年月
くまもと地下水の成り立ちと水道のこれから	51分45秒	2025年11月
熊本市における下水道資源の有効活用について	46分00秒	2025年11月
あらためて上下水道の強靱化について考える	70分45秒	2025年11月
水質基準の改正等のためのエビデンスの取得と提供	66分07秒	2025年10月
フューチャー・デザインを用いた住民合意形成の可能性	96分16秒	2025年10月
田んぼダム研究の最前線	67分46秒	2025年10月
地場食品産業のグローバル化に資する大学教育	61分05秒	2025年9月
地域運営の実践プロセスと農村RMOの実現に向けた課題	55分55秒	2025年9月
牛海綿状脳症(BSE)の収束と牛肉骨粉の家畜用飼料への利用再開	67分47秒	2025年9月
いまさら聞けない地域防災と利活用 ～大相模調節池と越谷レイクタウン～	73分48秒	2025年6月
園場整備を活かしたスマート農業の取り組みについて	64分05秒	2025年6月
企業における食品安全文化	76分24秒	2025年6月
農業を用いた植物保護と新技術導入の試み	80分35秒	2025年6月
オガクズの代替となる新しい敷料の探索	63分15秒	2025年6月
能登半島地震を踏まえた上下水道地震対策について	57分36秒	2025年6月
食料安全保障とエネルギー安全保障の観点からみる営農型太陽光発電の将来展望	69分10秒	2025年6月
グローバル情勢を踏まえた世界と日本の畜産・飼料動向について	70分07秒	2025年6月
地産地消推進の拠点『農産物直売所』の現状	77分27秒	2025年6月
八郎潟干拓とモデル農村の建設	46分02秒	2025年6月

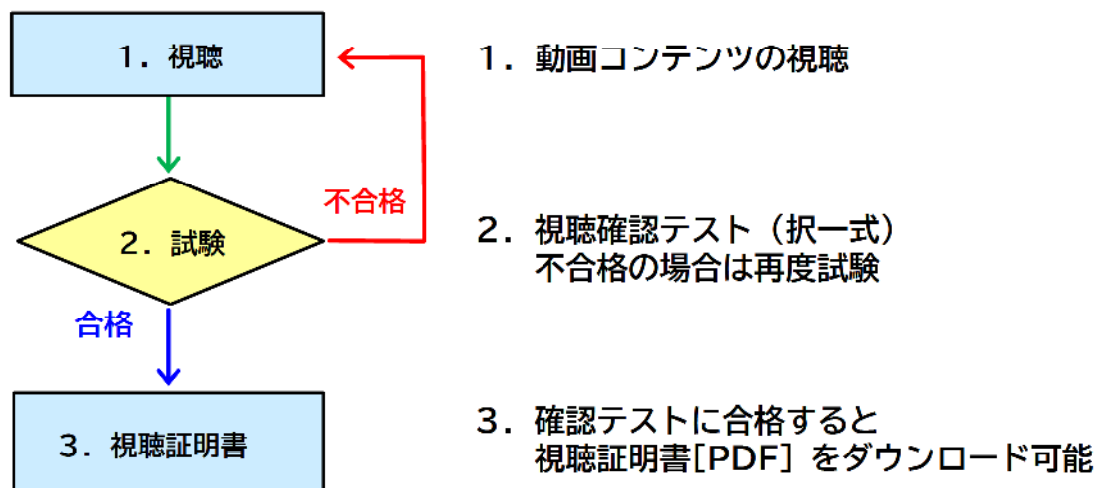
39



Peラーニング (動画視聴・確認テスト・視聴証明)

Peラーニング(択一式)

講演録画の視聴後に確認テストを行い、合格すると、視聴証明書が発行されるシステムです。

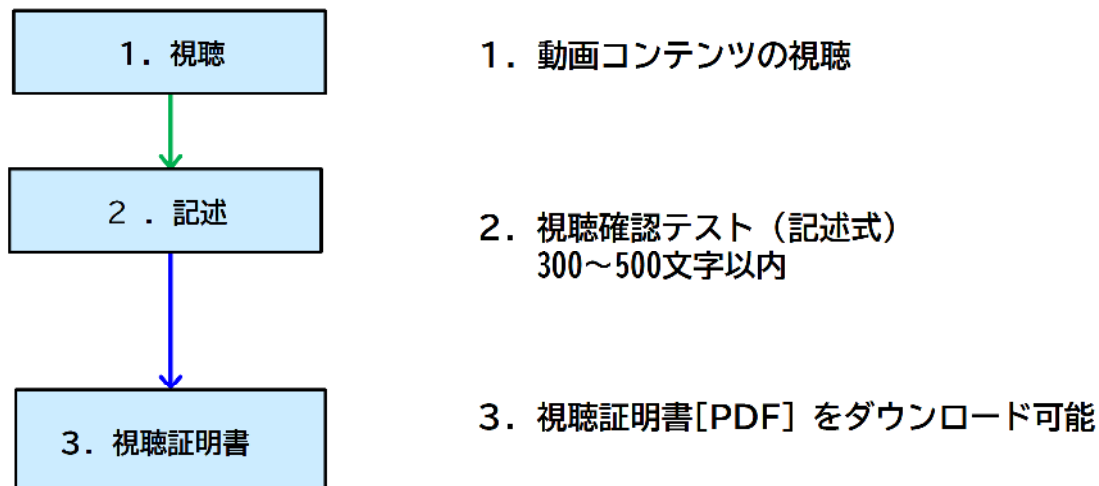


40

Peラーニング (動画視聴・記述式・視聴証明)

Peラーニング(記述式)

講演録画の視聴後に学習した確認テストを行い、合格すると、視聴証明書が発行されるシステムです。



日本技術士会IPD事業の概要

(1) 日本技術士会におけるIPDに関する事業化について

技術士制度におけるIPDに関する懇談会の議論のまとめ(令和6年7月26日)

- 文科省技術士分科会IPD懇談会で示された「確実に機能するシステムのプロトタイプをつくり、エコシステムとして令和7年度から小さくスタートさせつつ、順次拡大させ社会実装を図る方向性」との提言を踏まえる。
- 日本技術士会はIPDシステムの構築・運営等が当会の目的である「科学技術の向上及び国民経済の発展並びに国際交流の推進に寄与し、更には広く社会に貢献する」とことと合致すると判断。
- 令和7年度よりIPD事業を、「IPD事業(スモールスタート)」と位置づけ、コンパクトに開始し、当会で運営していくことを決定。



(2) IPD事業の目的

日本技術士会におけるIPD事業の目的は以下のとおり

- ・ 若年層技術者の育成環境の提供
- ・ 迅速なスキル獲得のための仕組みの整備
- ・ 環境整備による技術士資格取得の早期化
- ・ 国際標準の資質能力を備えた技術者全体の育成（底上げ）

(3) IPD事業の対象者

IPD事業（スモールスタート）の対象者：

修習技術者（技術士を目指す技術者）

- ・ 「修習技術者」とは、「技術士第一次試験合格者及びそれと同等と認められた者」で、「技術士補」となる資格を有する者の呼称
- ・ **JABEE認定課程修了者**は、上記の「それと同等と認められた者」に該当することから、**IPD事業の対象者**となる



(4) IPD事業に参加する修習技術者に求められる資質能力

＜技術士に求められる資質能力（コンピテンシー）＞

（文部科学省技術士分科会 改訂令和5年1月）

専門的学識
評価
技術者倫理

問題解決
コミュニケーション
継続研さん

マネジメント
リーダーシップ



- ・ IPD事業に参加する修習技術者は、技術士資格の取得を目指し、資質能力の向上・獲得が目的であることから、技術士の資質能力と同じ枠組みで活動できる環境を提供する。
- ・ 修習技術者のための各種行事、IPD活動実績のWEB登録・管理及び活用の仕組み等を提供することを通して、修習技術者の資質能力の獲得を支援する。



(5) IPD事業のサービス内容と活動の手順

IPD事業参加者に対し、現在、日本技術士会が実施しているCPDに係わる事業と同等レベルのサービス内容及び利用環境を提供。



< IPD活動の手順 >

① IPD登録アカウントの取得
(IPD登録ID・パスワード取得)



② IPD行事予定の閲覧



③ 各種行事の参加申込み

(行事参加)



④ IPD活動実績の登録・閲覧



⑤ IPD活動実績の記録記載申請

(記載審査)



⑥ IPD活動実績の証明発行

< IPDシステムの利用 >

- 日本技術士会ホームページのTOP画面の下記バナーより、IPD事業に係わる基本事項の概要説明画面「修習技術者の方へ（IPD活動）」へ遷移
- 「修習技術者の方へ（IPD活動）」の項目のクリックにより「IPDシステム」へアクセス可能

修習技術者の方へ(IPD活動)

(TOP画面の中段あたりに配置)

- 下記バナーより直接「IPDシステム」へアクセス可能

IPDシステム(IPD活動を支援)

(TOP画面の右下あたりに配置)



技術士CPDと修習技術者IPDの、
証跡のある活動記録として統合管理



期待される効果（メリット）

（IPD事業の参加者）
技術士を目指す
修習技術者



シームレス



（技術士資格を取得した後）
技術士

- ・ 技術士会が提供する講習会や見学会など
広範で多様な学びの機会の獲得
- ・ 技術士と同様な視座での**自らの学びを俯瞰**
- ・ **学びの蓄積の客観的把握・振り返り・証明**
- ・ **資質バランスの偏重・弱点発見**
- ・ **初期専門能力開発（IPD）の効率化・一層の促進**

- ・ **自らのIPDとの関係を認識したCPDの実践**
- ・ 技術士としての**専門性の深化**
- ・ **専門周辺の知識の獲得・技術領域の拡張**

47



（７）IPD事業への参加費用

■IPD登録アカウントの取得費用

及びIPD活動実績のWEB登録の手数料

本会未入会の方 ※本会未入会の修習技術者が IPD事業に参加する場合	1年度あたり2,000円 (4月から翌年3月を1年度)
本会準会員の方 ※本会準会員の修習技術者が IPD事業に参加する場合	無料

■日本技術士会が提供する各種IPD行事等の参加費用

行事ごとに行事主催者が決定した金額、基本非会員は会員の2倍の参加費とする。

※1行事あたり500円から2000円程度、無料の場合もあります

※見学会等の旅費が発生する場合はこの限りではありません

48

(8) IPD事業の開始予定 (IPD登録の開始予定)

■IPD登録アカウントの取得申請

- ・ 2025年（令和7年）3月中下旬の開始を予定
- ・ 詳細は、3月中旬に日本技術士会のホームページに掲載予定
- ・ IPD登録アカウントの取得申請は、日本技術士会HPのTOPにあるバナーから進んでください。

注) IPD登録アカウントの取得を申請していただき、アカウント取得費用の入金が確認できた時点で、IPD行事予定の閲覧、参加申込み、IPD活動実績の登録などが可能となります。ただし、当初はIPD行事予定の閲覧・参加申込みは一般申込み（旧システム）のみとなります。会員向けシステムは（新システム）の利用は後日お知らせいたします。

49



3. その他

- ・ IPD事業の開始にあわせて以下のガイドライン・マニュアルを作成し、IPD事業に関する制度やしくみ・実施方法の詳細、留意事項など収録しています。
- ・ 是非、ご確認ください。（現在作成中）
 - 修習技術者IPDガイドライン（案）Ver.xx
 - 修習技術者IPDマニュアル（案）Ver.xx

50



おわりに

日本技術士会では、資質向上を図る機会をオンラインを含めた様々な形で提供しています。

これまで対象を会員と技術士（非会員）としていましたが、IPD（初期専門能力開発）スモールスタートにより、修習技術者（非会員）にも、2026年3月（予定）には資質向上を図る機会を提供することになっています。

研修委員会 委員長 松山正弘